

令和5年度

城下まちづくり未来会議総会

城下まちづくり未来会議

## 令和5年度 城下まちづくり未来会議総会 議案書

### 1 城下まちづくり未来会議

第1号議案	令和4年度	城下まちづくり未来会議事業報告	・・・	1頁
第2号議案	令和4年度	城下まちづくり未来会議決算報告 監査報告	・・・	3頁
第3号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議役員について(案)	・・・	4頁
第4号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議事業計画(案)	・・・	5頁
第5号議案	令和5年度	城下まちづくり未来会議予算(案)	・・・	7頁
参 考		城下まちづくり未来会議組織図・城下まちづくり未来会議規約	・・・	8頁

### 2 城下地区自治会連合会

第6号議案	令和4年度	城下地区自治会連合会事業報告	・・・	12頁
第7号議案	令和4年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター決算報告 監査報告	・・・	13頁
報 告	令和5年度	城下地区自治会連合会役員について	・・・	15頁
第8号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会事業計画(案)	・・・	16頁
第9号議案	令和5年度	城下地区自治会連合会及び 城下地区防災センター予算(案)	・・・	17頁

### 3 城下地区社会福祉協議会

第10号議案	令和4年度	城下地区社会福祉協議会事業報告	・・・	19頁
第11号議案	令和4年度	城下地区社会福祉協議会決算報告 監査報告	・・・	21頁
第12号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会役員について(案)	・・・	22頁
第13号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会事業計画(案)	・・・	24頁
第14号議案	令和5年度	城下地区社会福祉協議会予算(案)	・・・	26頁

### 4 城下地区防犯防災協議会

第15号議案	令和4年度	城下地区防犯防災協議会事業報告	・・・	27頁
第16号議案	令和4年度	城下地区防犯防災協議会決算報告 監査報告	・・・	32頁

第 17 号議案	令和 5 年度	城下地区防犯防災協議会役員について(案)	・・・	33 頁
第 18 号議案	令和 5 年度	城下地区防犯防災協議会事業計画 (案)	・・・	34 頁
第 19 号議案	令和 5 年度	城下地区防犯防災事業予算 (案)	・・・	37 頁

## 5 城下地区環境建設協議会

第 20 号議案	令和 4 年度	城下地区環境建設協議会事業報告	・・・	38 頁
第 21 号議案	令和 5 年度	城下地区環境建設協議会役員について(案)	・・・	41 頁
第 22 号議案	令和 5 年度	城下地区環境建設協議会事業計画 (案)	・・・	42 頁

## 令和4年度 城下まちづくり未来会議事業報告

### 1 総括

「城下まちづくり未来会議」が設置され5年目の事業年度が終了しました。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から城下まちづくり未来会議の総会については、書面議決の方式によることとし、関係議案の議決、承認をいただきました。

各自治会と同様に未来会議の活動も制約を余儀なくされ、住民のふれあい、支え合いを中心としたコミュニティづくりが困難な事態でもあり、「城下まちづくり計画」に沿った活動が十分にできませんでした。

令和5年度こそは、地域に元気が戻り、城下まちづくり未来会議の本来の活動ができることを強く願うものです。

### 2 城下地区まちづくり計画について

令和4年3月に城下地区のまちづくりの指針となる「城下まちづくり計画」を作成し、総会議案の議決に合わせ報告をいたしました。

期間は、令和4年度から令和8年度までの5か年となっています。

この計画では、まちづくりの構想（ビジョン）として、3つの柱「活力あふれ生活を支えるまちづくり」、「ともに支え合うまちづくり」、「安全安心なまちづくり」、を設定し、それぞれ取り組む事業、施策を位置付けました。

城下まちづくり未来会議の構成団体である自治会連合会、社会福祉協議会、防犯防災協議会及び環境建設協議会においてそれぞれの施策、事業に取り組みました。

### 3 行政への要望活動について

城下地域の主要道路、水路の整備、災害防止対策に係る整備等広域的な課題の解決に向け、10月に上田市及び長野県に対し、「令和4年度城下まちづくり未来会議

要望書」を提出しました。

この要望活動を受けて、11月4日（金）には、土屋陽一上田市長の現地視察が行われ、現地において要望事項の早期対応についてお願いをしました。

#### 4 上田市主催の会議等への参加について

4月に上田市文化会館で開催された上田市地域協議会合同委嘱会議に出席し、住民自治組織の活動報告と地域協議会役員との意見交換を行いました。

また、本年1月に開催された令和4年度住民自治組織全体会議に出席し、住民自治組織の交付金、まちづくり支援金等についての協議、住民自治組織役員相互の意見交換を行いました。

#### 5 城下まちづくり未来会議拡大三役会の開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、城下まちづくり未来会議役員会については、対面での会議を見送りとしました。

その代替措置として、会長、副会長、会計、事務局長による拡大三役会を定例で開催し、協議・調整を行いました。

また、城下自治会連合会の定例会議に出席し、必要な連絡、調整を行いました。

第2号議案

令和4年度 城下まちづくり未来会議決算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

会長 増澤 吉雄  
 会計 金井 保芳

収入総額	4,867,084円
支出総額	4,525,144円
交付金返戻額	341,856円 上田市へ返戻分預り
差引次期繰越額	84円 (貯金利息累計)

(収入の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備考
1. 交付金	交付金	4,867,000	4,867,000	0	まちづくり計画提出
2. 雑収入	雑入	939	23	△ 916	貯金利息
3. 繰越金	繰越金	61	61	0	
	合計	4,868,000	4,867,084	△ 916	

(支出の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備考
1. 運営費・活動費	報酬	430,000	430,000	0	役員手当 22名
	賃金	1,320,000	1,319,880	△ 120	事務局員賃金12ヶ月
	報償費	140,000	0	△ 140,000	
	旅費	80,000	1,140	△ 78,860	交通費他
	消耗品費	500,000	423,749	△ 76,251	事務用品、看板154、あいさつ運動用タスキ82、コロナ対策用品他
	燃料費	20,000	0	△ 20,000	
	食糧費	78,000	56,421	△ 21,579	お茶代他
	印刷製本費	950,000	864,710	△ 85,290	総会107、防災計画405、太陽光250、まちづくり通信101
	光熱水費	4,000	0	△ 4,000	
	修繕料	15,000	9,706	△ 5,294	ドア、ノートパソコン修理材料部品代
	通信運搬費	151,000	126,275	△ 24,725	電話、インターネット、切手代他
	手数料	5,000	440	△ 4,560	防災計画概要版代金振込手数料
	保険料	0	0	0	
	委託料	300,000	200,000	△ 100,000	環境整備140・HPメンテナンス委託60
	使用料及び賃借料	400,000	276,000	△ 124,000	事務所賃借料264、HPサーバーレンタル12
	原材料費	0	0	0	
	備品購入費	200,000	301,223	101,223	プリンター1台103、ノートパソコン1台172他
	負担金	0	15,600	15,600	環境建設講演会負担金、防災講演会参加費
	積立金	0	500,000	500,000	防災倉庫建設資金用(3カ年積立の1年目)
予備費	275,000	0	△ 275,000		
	合計	4,868,000	4,525,144	△ 342,856	

城下まちづくり未来会議(積立金) 口座番号0226711 残高500,000円(普通預金・信州うえだ農協 上田西支所)

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和5年4月5日

監事

田玉 治實

㊞

監事

沓掛 勝也

㊞

### 第3号議案

## 令和5年度 城下まちづくり未来会議役員(案)

任期：会長、副会長、事務局長及び会計 承認された日から令和7年3月31日まで  
 その他の役員 承認された日から令和6年3月31日まで

(敬称略)

番号	役職名	氏名	所属団体等	自治会
1	会長	増澤 吉雄	城下まちづくり未来会議	中村
2	副会長	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議	中之条
3	副会長	手塚 博明	防犯防災協議会長 城下自治会連合会評議員	須川
4	副会長	西入 直喜	環境建設協議会会長	小牧
5	副会長	長谷川 和生	城下自治会連合会会長	御所
6	事務局長	高橋 義幸	社会福祉協議会会長	中之条
7	会計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議	諏訪形
8	委員	中澤 伸夫	城下自治会連合会副会長	中之条
9	委員	村上 好成	城下自治会連合会副会長	中村
10	委員	田玉 昇	城下自治会連合会会計	三好町
11	委員	稲垣 康史	城下自治会連合会センター管理・評議員	諏訪形
12	委員	丸山 孝	城下自治会連合会評議員	朝日ヶ丘
13	委員	宮島 範之	城下自治会連合会監事	小牧
14	委員	宮下 新五	城下自治会連合会監事	千曲町
15	委員	竹内 久子	社会福祉協議会	朝日ヶ丘
16	委員	前橋 利江	社会福祉協議会	小牧
17	監事	田玉 治實	城下まちづくり未来会議	御所
18	監事	沓掛 勝也	城下まちづくり未来会議	御所
19	顧問	小坂井 正明	防犯防災協議会	御所
20	顧問	小林 久敏	防犯防災協議会	諏訪形
21	顧問	小野澤 義和	環境建設協議会	中村
22	相談役	宮下 省二	市議会議員	諏訪形
23	地域担当職員	滝沢 昌樹	城南公民館 地域担当職員	—

## 令和5年度 城下まちづくり未来会議事業計画(案)

### 1 事業活動の基本的な方向性

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経過する中、政府においては新型コロナウイルスについて、本年5月8日から感染法上の位置づけを季節性インフルエンザと同様に「5類」に移行することを決定しました。

これにより、外出自粛や行動制限、医療機関への受診、マスク着用など様々な規制が緩和されることが見込まれ、城下まちづくり未来会議の本来の活動ができるものと考えます。

こうしたことを踏まえ、「城下まちづくり計画」に基づき、城下地域の課題解決に向け、城下まちづくり未来会議を構成する自治会連合会、社会福祉協議会、防犯防災協議会、環境建設協議会の4団体が中核となり、地域住民、各自治会、NPO、企業など幅広い関係者と連携・協働して事業に取り組み、魅力あるまちづくりの実現を目指します。

事業の内容等については、「城下まちづくり計画」をご参照ください。

### 2 広報活動の取り組み

広報紙「城下まちづくり通信」、ホームページなどを通して、城下まちづくり未来会議及び構成団体等の活動状況をお知らせし、住民参加によるまちづくりを進めます。

### 3 川辺泉田まちづくり協議会との連携

城下地域に隣接する「川辺泉田まちづくり協議会」とは、これまで共通する地域課題（太陽光発電施設の設置）について、連携して取り組んできています。

今後においても、共通する課題が生じた場合は、同様に連携し、対応してまいります。

#### 4 上田市諏訪形太陽光発電施設への取り組み

上田市諏訪形太陽光発電施設の設置については、住民説明会の開催を経て、昨年10月に城下地域の全自治会長と事業者との間で協定が締結されました。これを受けて、現在工事が進められている状況にあります。

今後、城下まちづくり未来会議においても、当該協定に基づき適法に施設の建設が行われているかどうか自治会関係者と一緒に現場確認等を行うとともに、上田市等に対する要望が求められる場合は、城下地区自治会連合会と連携して取り組んでまいります。

第5号議案

令和5年度 城下まちづくり未来会議予算(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会長 増澤 吉雄

会計 金井 保芳

収入総額	4,964,109円
支出総額	4,964,109円
差引金額	0円

(収入の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備考
1. 交付金	交付金	4,867,000	4,964,000	97,000	
2. 雑収入	雑入	23	25	2	利息
3. 繰越金	繰越金	61	84	23	
	合計	4,867,084	4,964,109	97,025	

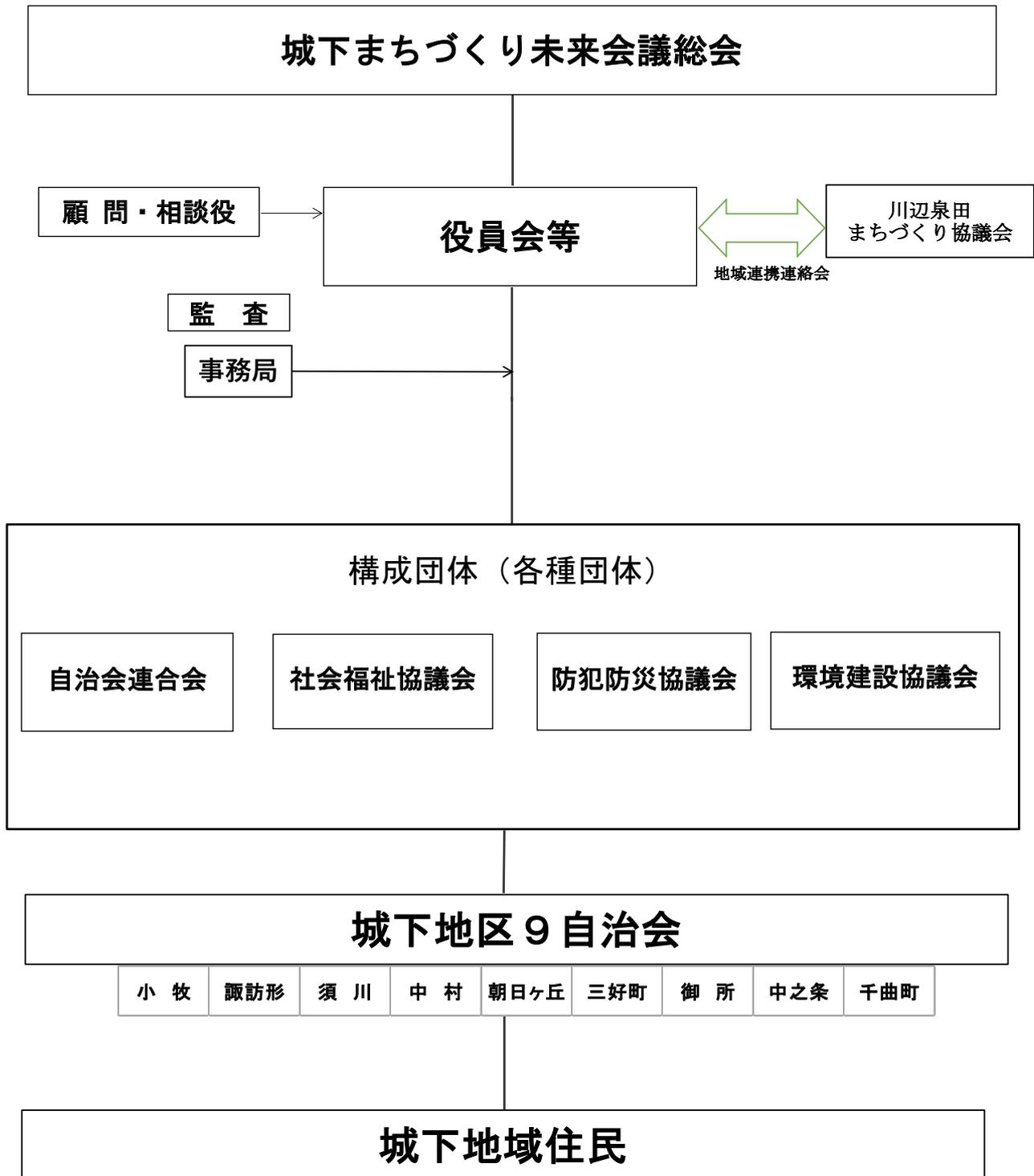
(支出の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備考
1. 運営費・活動費	報酬	430,000	430,000	0	役員報酬23名
	賃金	1,319,880	1,399,000	79,120	事務局員賃金
	報償費	0	90,000	90,000	講師謝礼
	旅費	1,140	45,000	43,860	
	消耗品費	423,749	432,400	8,651	事務用品雑貨他
	燃料費	0	0	0	
	食糧費	56,421	78,000	21,579	お茶他
	印刷製本費	864,710	544,000	△ 320,710	会報・総会資料・要望書
	光熱水費	0	4,000	4,000	会場冷暖房費
	修繕料	9,706	15,000	5,294	
	通信運搬費	126,275	153,000	26,725	電話インターネット切手
	手数料	440	5,000	4,560	振込料他
	保険料	0	0	0	
	委託料	200,000	72,600	△ 127,400	HPメンテナンス
	使用料及び賃借料	276,000	370,000	94,000	事務所家賃月264,HPサーハールンタル17
	原材料費	0	0	0	
	備品購入費	301,223	611,000	309,777	防災備品他
負担金	15,600	215,000	199,400	消防まつり200他	
積立金	500,000	500,000	0	防災倉庫建設資金	
2. 予備費	予備費	0	109	109	次年度繰越金含む
	合計	4,525,144	4,964,109	438,965	

城下まちづくり未来会議(積立金) 口座番号0226711 残高1,000,000円(普通預金・信州うえだ農協 上田西支所)

# 城下まちづくり未来会議 組織図



# 城下まちづくり未来会議規約

(名称)

**第1条** この会は、城下まちづくり未来会議（以下「まちづくり未来会議」という。）と称する。

(区域)

**第2条** まちづくり未来会議の区域は、上田市城下地域とする。

(目的)

**第3条** まちづくり未来会議は、城下地域の住民が相互に連絡調整を図り、地域の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民による住みよいまちづくり、未来づくりを推進することを目的とする。

(事務所)

**第4条** まちづくり未来会議の事務所は、上田市諏訪形1160番地2 信州うえだ農業協同組合上田西支所城下店内に置く。

(事業)

**第5条** まちづくり未来会議は、次の事業を行う。

- (1) 地域の振興と課題解決に向けた事業の企画、実施に関すること。
- (2) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成団体)

**第6条** まちづくり未来会議には、次の構成団体をもって構成する。

- (1) 城下地区自治会連合会
- (2) 城下地区社会福祉協議会
- (3) 城下地区防犯防災協議会
- (4) 城下地区環境建設協議会
- (5) その他会長が必要と認めた部会及び委員会

(役員)

**第7条** まちづくり未来会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 会計 1人
- (4) 事務局長 1人
- (5) 委員 15人以内
- (6) 監事 2人

2 役員は、第6条に規定する構成団体が推薦する者をもって構成する。

3 会長、副会長、会計、事務局長及び監事は、役員の内選により選任し、総会において承認する。ただし、任期の途中で欠けた場合は、役員会で選出する。

4 会長は、委員を推薦することができる。

(役員の仕事)

**第8条** 会長は、会務を総理し、まちづくり未来会議を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 3 委員は、まちづくり未来会議の運営に必要な会務を行う。
- 4 会計は、まちづくり未来会議の会計を行う。
- 5 事務局長は、事務局を掌理する。
- 6 監事は、まちづくり未来会議の会計を監査する。

(役員の任期)

**第9条** 役員の任期は、会長、副会長、会計及び事務局長は2年とし、委員及び幹事は1年とする。

ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員の任期が満了したときは、当該役員は、後任者が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(顧問)

**第10条** まちづくり未来会議に顧問及び相談役を置くことができる。

- 2 顧問及び相談役は役員会において決定し、会長が委嘱する。

(総会)

**第11条** 総会は、会長が招集し、公開で行う。

- 2 総会は、代議員制とする。
- 3 会長、副会長、会計及び事務局長は、代議員となることできない。
- 4 総会は、代議員の過半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 5 総会の議長は、代議員が互選する。
- 6 総会は、年1回定期に開催する。ただし、会長が必要と認めた場合、臨時に開催することができる。
- 7 代議員の4分の1以上の請求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。
- 8 総会は、次の事項について議決する。
  - (1) 規約の改廃に関すること。
  - (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
  - (3) 予算及び決算に関すること。
  - (4) まちづくり計画に関すること。
  - (5) その他会長が必要と認めること。
- 9 代議員の選出については、別表に定める。
- 10 代議員の任期は1年とし、定期総会から翌年の定期総会の前日までとする。
- 11 総会の議事は、出席代議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。
- 12 第8項各号の事項について、緊急を要するときは、役員会の決定をもって総会の議決に代えることができる。
- 13 前項の規定により決定した事項は、総会で報告し承認を得るものとする。

(役員会)

**第12条** まちづくり未来会議に役員会を置き、第7条の役員をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

3 役員会は、次の事項について協議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会により付託された事項

(3) まちづくり未来会議の運営及び執行に関する事項

(4) その他会長が必要と認めた事項

4 会長は、必要に応じて、役員以外の者を役員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務局)

**第13条** まちづくり未来会議に事務局を置く。

2 会長は、事務局員を任命する。

(経費)

**第14条** まちづくり未来会議の経費は、交付金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

**第15条** まちづくり未来会議の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(会計年度)

**第16条** まちづくり未来会議の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(補則)

**第17条** この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

1 この規約は、平成29年6月17日から施行する。

2 平成30年6月23日一部改正

3 まちづくり未来会議の設立時の役員は、第9条第1項の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

4 令和2年4月1日一部改定

別表 (第11条 第9項関係)

(1) 各自治会が推薦する者

(2) 次に挙げる団体が推薦する者

ア 城下地区防犯・防災協議会

イ 城下地区環境建設協議会

ウ 城下地区社会福祉協議会

(3) その他、会長が必要と認める団体が推薦する者

## 令和4年度 城下地区自治会連合会事業報告

### 1. 令和4年度 城下自治会連合会の総括と主な活動

新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつも、各自治会との情報交換を中心に、有意義な活動をすることができました。主な活動は、以下のとおりです。

- ①上田市自治会連合会からの指示・連絡の伝達と確認
  - ・自治会実態調査・市政三者懇談会（市が依頼する各役職の見直し）・消防団との意見交換 etc
- ②各自治会の現状と課題についての情報交換
  - ・「上田わっしょい」「敬老会」「夏祭り」対応・緊急時の区民への情報発信・総会開催方法 etc
- ③他団体からの連絡・要請・報告
  - ・市役所・まちづくり未来会議・防犯防災協・上田市保護司会・消防団第6分団 etc
- ④朝日ヶ丘太陽光発電施設建設に関する諸活動
  - ・建設工事業者と各自治会の協定書の調印 etc

### 2. 令和4年度 城下自治会連合会定例役員会

日時	会議	主な議題
3月5日	第1回城下自治連定例役員会	各自治会の現状と課題 報告と意見交換
4月23日	第2回城下自治連定例役員会	城下まちづくり未来会議について 太陽光発電施設建設計画の現状と課題
5月21日	第3回城下自治連定例役員会	城下防犯防災協議会より
6月25日	第4回城下自治連定例役員会	上田地区保護司会の活動紹介 金窓寺川調整池工事現況報告
7月23日	第5回城下自治連定例役員会	市政三者懇談会について 千曲川水辺公園の現状と今後のあり方
8月20日	第6回城下自治連定例役員会	市政三者懇談会の議題討議 (自治会選出役員の有用性検討)
9月17日	第7回城下自治連定例役員会	太陽光発電施設建設計画の現状と課題 金窓寺川調整池工事現況・防災訓練について
9月30日	臨時城下自治連役員会	太陽光発電施設計画の現状と課題 (工事承認にともなう「協定書」について)
10月22日	第8回城下自治連定例役員会	太陽光発電施設工事開始後の取組み 市政三者懇談会議案の意見交換
11月19日	第9回城下自治連定例役員会	市政三者懇談会報告 消防団第六分団「消防祭り」計画
12月22日	第10回城下自治連定例役員会	来年度役員体制について
1月21日	第11回城下自治連定例役員会	来年度役員体制と引継ぎ日程について 太陽光発電施設工事現地視察について
2月18日	第12回城下自治連定例役員会	新旧役員顔合わせと引継ぎ

## 令和4年度 城下地区自治会連合会決算

期間(令和4年4月1日より 令和5年3月31日)

会 長 窪田 善雄  
会 計 湯本 伸昌

収入合計額	3,759,161 円
支出合計額	3,145,885 円
差引残高	613,276 円

収入の部

単位 : 円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
A 繰越金	479,497	479,497	0	前年度繰越金
B 負担金	164,800	3,164,960	3,000,160	太陽光発電業者より自治会負担金として300万円 9自治会負担金(40円×4124戸)4戸増
C 助成金	100,000	104,900	4,900	上田市自治連(地区活動費・事務委託料)上田市環境衛生協議会
D 使用料	15,000	9,792	△ 5,208	プリンター印刷使用料(自治連備品)
E 雑収入	5,000	12	△ 4,988	貯金利息
F 繰入金	0	0	0	
合 計	764,297	3,759,161	2,994,864	

支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
1 会議費	240,000	1,385	△ 238,615	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2 研修費	30,000	0	△ 30,000	役員視察研修負担金
3 交際費	50,000	0	△ 50,000	上田市自治連懇親会 各団体懇親参加祝儀 他
4 負担金補助及び交付金	110,000	3,065,000	2,955,000	県保護観察協会・城南地区青少年育成市民会議・太陽光発電業者より自治会負担金として朝日ヶ丘自治会へ 他
5 消耗品費	30,000	0	△ 30,000	自治連備品消耗品代
6 印刷費	10,000	0	△ 10,000	
7 修繕費	100,000	0	△ 100,000	
8 役員手当	63,000	63,000	0	役員(9名) 顧問(1名)
9 旅費交通費	20,000	0	△ 20,000	
10 予備費	111,297	16,500	△ 94,797	太陽光発電業者との交渉対応の弁護士相談料
合 計	764,297	3,145,885	2,381,588	

### 会計監査報告

令和5年4月8日 一般会計監査を実施しました。

会計帳簿、領収書を精査した結果、収支共明確であり決算は適正であることを承認します。

監 事 宮島 清美 印

監 事 手塚 博明 印

# 令和4年度 城下地区防災センター決算

期間 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

管理者 長坂 峰男  
 会計 湯本 伸昌

収入総額 1,059,861 円  
 支出総額 820,063 円  
差引残高 239,798 円

## 収入の部

単位 : 円

	項目	本年度予算額	本年度決算額	増	減	内容
A	繰越金	82,393	82,393		0	前年度繰越金
B	施設使用料	580,000	628,270	48,270		ホール・和室使用料
C	電気使用料	130,000	149,124	19,124		エアコン使用料、分団負担電気料
D	積立金解約	0	200,072	200,072		定期貯金0004解約
E	雑収入	2	2		0	貯金利息
	合計	792,395	1,059,861	267,466		

## 支出の部

	項目	本年度予算額	本年度決算額	増	減	内容
1	会議費	10,000	0	△	10,000	
2	管理報酬費	80,000	80,000		0	管理費セブンイレブン 40,000円 運営委員会報酬(9名) 40,000円
3	消耗品費	20,000	11,155	△	8,845	トイレ用品他 年末清掃用具
4	修繕費	100,000	93,500	△	6,500	エアコン修理
5	研修費	0	0		0	
6	光熱水費	430,000	557,354	127,354		電気、ガス、上下水道
7	委料費	120,000	76,184	△	43,816	清掃、防災管理
8	備品購入費	10,000	0	△	10,000	
9	事務・印刷費	5,000	1,870	△	3,130	入金手数料 振込手数料 コピー代
10	積立金	0	0		0	
11	予備費	17,395	0	△	17,395	
	合計	792,395	820,063	27,668		

## 積立金

(令和5年3月31日)

預入番号	使途目的	金額	明細
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,038	1年定期貯金 期日(R5.3.3) 信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,966	1年定期貯金 期日(R4.8.26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,939	1年定期貯金 期日(R4.6.17) 信州うえだ農協 上田西支所
	合計	¥1,102,943	

## 会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和 5年 4月 8日

監事 宮島 清美 印

監事 手塚 博明 印

令和5年度 城下自治会連合会役員名簿

(敬称略)

	役職	氏 名	自治会	電 話
1	会 長	長谷川 和生	御 所	090-8776-0049 23-5781
2	副会長	中澤 伸夫	中之条	080-1133-9710 24-0960
3	副会長	村上 好成	中 村	090-4159-0751 27-5405
4	会 計	田玉 昇	三好町	090-4158-3816 22-3343
5	以外-管理 評議員	稲垣 康史	諏訪形	090-4913-7872 23-1387
6	評議員	手塚 博明	須 川	090-1867-5533 24-6728
7	評議員	丸山 孝	朝日ヶ丘	090-9832-2954 26-7357
8	監 事	宮島 範之	小 牧	090-6472-1765 23-2450
9	監 事	宮下 新五	千曲町	090-2404-7795 27-6861
10	顧 問	窪田 善雄	諏訪形	090-6563-1796 24-4588

## 令和5年度 城下地区自治会連合会事業計画（案）

### 1 基本方針

城下地区自治会連合会は、当地区9自治会に共通する諸課題の解決に向け、関係機関・団体と一体となり、その取り組みを進めてまいります。

また、城下まちづくり未来会議を構成する各団体と連携・協働のもと、「安全で安心な地域づくり」の実現に努めてまいります。特に令和元年の台風19号災害を教訓として、地域全体での防災対策に引き続き取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変更されることに鑑み、感染対策に留意しつつも、可能な範囲で平常時の活動に近づくことができるように努めます。

### 2 城下地区自治会連合会の事業

(1) 毎月城下地区9自治会長定例会を開催し、情報の共有化を図る中で各自治会事業が円滑に推進できるよう調整に努めます。

(2) 城下まちづくり未来会議を構成する城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯・防災協議会、城下地区環境建設協議会と連携し、上田市等への要望活動に取り組みます。

(3) 川辺・泉田まちづくり協議会と連携し、城南地域のまちづくりに必要な事業にとりくんでまいります。

(4) 上田市消防団第6分団の新規団員の確保に向けた協力、支援に努めます。その一環として、本年度計画されている第6分団の「消防まつり」開催に全面的に協力いたします。

(5) 城南公民館、城南地区青少年育成市民会議等の主催事業に参画し、城下地区住民の福祉向上に努めます。

### 3 安全・安心なまちづくり事業の推進

(1) 災害に強いまちづくりを目指し、行政と連携しながら中核となる城下地区防犯・防災協議会と連携し、広域的な防災対策に取り組んでまいります。その一環として、昨年度諏訪形地区に完成した金窓寺川調整池の運用については、関係諸団体と連携しつつ、可能な範囲で協力してまいります。

(2) 住宅化が急速に進展する地域事情に鑑み、また今年度城下地区が上田市の「交通安全モデル地区」に指定されたことにも鑑み、交通安全協会城下支会との連携を密にし、交通事故の防止に向けた安全対策に取り組んでまいります。

(3) 少子高齢化社会における福祉課題の解決に向け、城下地区社会福祉協議会と連携して取り組みを進めてまいります。

(4) 現在、朝日ヶ丘地区で進んでいる太陽光発電施設設置工事については、関係諸団体と連携しつつ、その安全性を注視してまいります。

## 令和5年度 城下地区自治会連合会予算（案）

期間(令和5年4月1日より 令和6年3月31日)

会 長 長谷川 和生  
会 計 田玉 昇

収入総額	898,236 円
支出総額	898,236 円
差引残高	0 円

収入の部

単位 : 円

項目	前年度決算額	令和5年度予算額	増 減	内 容
A 繰越金	479,497	613,276	133,779	
B 負担金	3,164,960	164,960	△ 3,000,000	9自治会負担金(世帯数×40円)
C 助成金	104,900	100,000	△ 4,900	上田市自治連(地区活動費)事務委託料、上田市環境衛生協議会 長野県共同募金会 他
D 使用料	9,792	15,000	5,208	大型プリンター印刷使用料(自治連備品)
E 雑収入	12	5,000	4,988	貯金利息・会議等負担金
F 繰入金	0	0	0	
合 計	3,759,161	898,236	△ 2,860,925	

支出の部

項目	前年度決算額	令和5年度予算額	増 減	内 容
1 会議費	1,385	240,000	238,615	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2 研修費	0	30,000	30,000	先進地視察研修
3 交際費	0	50,000	50,000	上田市自治連懇親会 他
4 負担金補助及び交付金	3,065,000	100,000	△2,965,000	城南地区青少年育成市民会議 県保護観察協会
5 消耗品費	0	30,000	30,000	自治連備品消耗品代
6 印刷費	0	10,000	10,000	資料印刷等
7 修繕費	0	10,000	10,000	大型プリンター修繕(自治連備品)
8 役員手当	63,000	63,000	0	役員・顧問(10名)
9 旅費交通費	0	20,000	20,000	
10 予備費	16,500	345,236	328,736	
合 計	3,145,885	898,236	△2,247,649	

# 令和5年度 城下地区防災センター予算(案)

期間 (令和5年4月1日より令和6年3月31日)

管理者 稲垣 康史

会 計 田玉 昇

収入総額	1,039,800	円
支出総額	1,039,800	円
差引残高	0	円

収 入 単位 : 円

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内 容
A	繰 越 金	82,393	168,476	86,083	前年度繰金
B	施 設 使 用 料	633,850	650,000	16,150	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	162,924	160,000	△ 2,924	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	200,072	0	△ 200,072	
E	雑 収 入	2	2	0	貯金利息
	合 計	1,079,241	1,039,800	△ 39,441	

支 出

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内 容
1	会 議 費	0	10,000	10,000	運営会議
2	管 理 報 酬 費	80,000	80,000	0	運営委員 (9名) 40,000円 セブンイレブン 40,000円
3	消 耗 品 費	11,155	20,000	8,845	トイレ用品他
4	修 繕 費	93,500	100,000	6,500	
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	631,006	600,000	△ 31,006	電気、ガス、上下水道
7	委 料 費	92,684	100,000	7,316	清掃、草刈り、防災設備管理
8	備 品 購 入 費	0	10,000	10,000	
9	事 務 ・ 印 刷 費	2,420	5,000	2,580	事務消耗品
10	積 立 金	0	0	0	定期貯金積立
11	予 備 費	0	114,800	114,800	
	合 計	910,765	1,039,800	129,035	

積 立 金 (令和5年3月31日)

預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,038	1年定期貯金 期日(R5.3.3) 信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,966	1年定期貯金 期日(R4.8.26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,939	1年定期貯金 期日(R4.6.17) 信州うえだ農協 上田西支所
	合 計	¥ 1,102,943	

## 令和4年度 城下地区社会福祉協議会事業報告

コロナ禍の中、感染対策を実施しながら、城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治会連合会、防犯防災協議会、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市社会福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めてまいりました。

### 1 主な会議等

- (1) 上田市社協、地区社協会長会議……5月17日(火)ふれあい福祉センター
- (2) 第1回城下地区福祉推進委員協議会顔合せ会…5月23日(月)防災センター
- (3) 城下まちづくり未来会議総会…新型コロナウイルス感染防止の観点で中止、議案書を郵送、書面議決書にて可決
- (4) 城下自治連・未来会議懇談会…6月25日(土)自治会要望取り扱い、あいさつ運動について
- (5) 城下自治連・未来会議懇談会…7月23日(土)未来会議要望取り纏め
- (6) 城下自治連・未来会議懇談会…8月20日(土)要望取り纏め、防災訓練
- (7) 第15回上田市社会福祉大会……11月2日(金)サントミュージゼ  
新型コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小して開催(表彰のみ)
- (8) 城下地区福祉推進協議会……11月17日(水)防災センター
- (9) 会計監査……令和5年4月5日(水)

### 2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会単位)  
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応…6月末  
・普通会費収納額 合計 2,012,000 円、特別会費 65,000 円
- (2) あいさつ運動の推進(新規事業平成29年度より開始)  
・「城下 あいさつ・声かけ運動」実行委員会開催は、コロナ感染拡大のため中止  
・街頭活動
  - 1) 全国強調月間に合せて、早朝より約1時間城下地区内19ヶ所一斉に実施  
実施日:① 7月1日(金) ② 11月1日(火) ③ 3月1日(水)
  - 2) 標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕を各月1ヶ月間、三好町歩道橋に2面設置、啓発活動を行った。
  - 3) あいさつ運動用タスキ製作配布(各小学校)
- (3) 城下地区研修会 11月17日(木) 午後2時～防災センター  
・講師 萩原宏樹氏(上田市社会福祉協議会地域福祉推進課長)  
・演題「フードライブ事業について」出席者20名

※例年住民会議(福祉講演会)を開催してきましたが、昨年につき新型コロナウイルス感染症のため規模を縮小し、上田市社会福祉協議会・城下地区福祉推進協議会と協賛で研修会を開催しました。

- (4)自治会支部社協で行う、地域ふれあい事業の推進・・・4月～12月  
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)

今年は新型コロナウイルス感染症のため、各支部の活動も制限されました。

- (5)自治会支部社協で行う、福祉活動に対し支援。

・助成金 9自治会へ 209,960円

・民生児童委員会、福祉推進協議会へ各 10,000円

## 令和 4 年度 城下地区社会福祉協議会決算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

会 長 高橋 義幸  
会 計 金井 保芳

収入合計額	467,508円
支出合計額	261,240円
差引残高	206,268円

(収入の部)

(単位;円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	165,707	165,707	0	
助成金	305,000	301,800	△ 3,200	上田市社会福祉協議会費還付金
雑収入	1	1	0	利息
合計	470,708	467,508	△ 3,200	

(支出の部)

(単位;円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	5,000	0	△ 5,000	
印刷費	20,000	0	△ 20,000	印刷代
研修費	20,000	7,280	△ 12,720	研修会
事務消耗品費	8,000	0	△ 8,000	封筒代
助成金	230,000	229,960	△ 40	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進委員会 10,000円
活動費補助	40,000	0	△ 40,000	
役員手当	28,000	24,000	△ 4,000	役員19名
旅費交通費	5,000	0	△ 5,000	
予備費	114,708	0	△ 114,708	
合計	470,708	261,240	△ 209,468	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、全て適正に処理されていることを認めます。

令和 5 年 4 月 5 日

監 事 田玉 治實 (印)  
監 事 沓掛 勝也 (印)

## 令和 5 年度 城下地区社会福祉協議会役員(案)

(敬称略)

役職名	氏 名	所属団体
会 長	高橋 義幸	4年度地区福祉協議会会長
副会長	北沢 育夫	地区民生児童委員会会長
副会長	手塚 博明	地区福祉推進協議会会長 地区防犯防災協議会会長
副会長	長谷川 和生	地区自治会連合会会長 御所自治会会長
会 計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議会計
理 事	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議副会長
理 事	西入 直喜	地区環境建設協議会会長
理 事	丸山 孝	朝日ヶ丘自治会会長
理 事	宮島 範之	小牧自治会会長
理 事	田玉 昇	三好町自治会会長
理 事	村上 好成	中村自治会会長
理 事	稲垣 康史	諏訪形自治会会長
理 事	中澤 伸夫	中之条自治会会長
理 事	宮下 新五	千曲町自治会会長
理 事	前橋 利江	城下地域包括支援センター所長
理 事	竹内 久子	上田市社協お結びサポーター
監 事	田玉 治實	城下まちづくり未来会議監事
監 事	沓掛 勝也	城下まちづくり未来会議監事
顧 問	宮下 省二	地元市議会議員
顧 問	増澤 吉雄	城下まちづくり未来会議会長

# 令和5年度 城下地区社会福祉協議会

(敬称略)

役 職 名		氏 名	自治会名	役 職	氏 名
会長 (4年度地区福祉協議会会長)		高橋 義幸	朝日ヶ丘	自治会長	丸山 孝
副会長 (地区民生児童委員会会長)		北沢 育夫		副自治会長	中田 徳幸
副会長 (地区福祉推進協議会会長)		手塚 博明		民生児童委員	市川 初美
副会長 (5年度地区自治連会長)		長谷川 和生		福祉推進委員	手塚 雅夫
			千曲町	自治会長	宮下 新五
自治会名	役 職	氏 名		副自治会長	神原 新一
三好町	自治会長	田玉 昇		民生児童委員	北沢 育夫
	副自治会長	並木 重信		//	藤森 一美
	民生児童委員	市川 泉		//	丸山 和枝
	社会福祉協議会会長	宮島 清美		社会福祉協議会会長	鋒城 康弘
須 川	自治会長	手塚 博明		諏訪形	自治会長
	副自治会長	青木 信	副自治会長		山越 敏雄
	民生児童委員	小林 悦子	民生児童委員		細川 茂子
	福祉推進委員	手塚 博明	//		窪田 三津子
中之条	自治会長	中澤 伸夫	御 所	社会福祉協議会会長	西條 和男
	副自治会長	武石 一幸		社会部長	山部 信哉
	民生児童委員	武井 孝夫	御 所	自治会長	長谷川 和生
	//	田中 康子		副自治会長	斎藤 平二
	//	藤松 則子		民生児童委員	竹中 久美子
	主任児童委員	岡村 さつき		民生児童委員	田玉 きよみ
	福祉推進委員	尾崎 礼子		民生児童委員	河面 美智子
福祉推進委員			福祉推進委員	田玉 富子	
中 村	自治会長	村上 好成	小 牧	自治会長	宮島 範之
	副自治会長	柳澤 登美男		副自治会長	降旗 次男
	民生児童委員	竹内 秀行		民生児童委員	片岡 敏久
	//	黒田 敏子		主任児童委員	長坂 和子
	社会福祉協議会会長	湯本 伸昌		福祉推進委員	清水 貞旨
	社会部長	松尾 恵子			

## 令和 5 年度 城下地区社会福祉協議会事業計画（案）

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治会連合会、防犯防災協議会、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めてまいります。

ウイズコロナに向けて、特に一人暮らし高齢者や、児童への見守り活動など出来得る方法を模索し、地域全体で支える仕組みづくりを行政などと情報交換を行い推進します。

また、SDGs(持続可能な目標)に向けて、城下地区で「フードドライブ」の取り組みを地区社協が中心に推進します。

### 1 会 議

- (1) 城下地区まちづくり未来会議総会……4月 22 日(土)防災センター
- (2) 上田市地区社協正副会長会……4月 市ふれあい福祉センター
- (3) 城下地区社協3役会……随時
- (4) 城下地区福祉推進協議会……4月・11 月

### 2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会毎に対応)  
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応…… 6月末
- (2) 城下地区住民会議  
住民会議の開催(福祉講演会) 城下地区防災センター(11 月)
- (3) あいさつ運動の推進
  - ・目的:地域の一体感の醸成
  - ・目標:犯罪の防止、青少年の健全育成、地域社会の意識啓発
  - ・スローガン:あいさつで明るい未来のまちづくり
  - ・「城下 あいさつ・声かけ運動」街頭活動を全国強調月間に合わせ、実施(7月・11 月・3月)
  - ・長野上田線三好町歩道橋に、標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕2面を強調月間に合わせて設置、啓発活動を行う。
- (4) 第1回城下地区フードドライブ事業…10月 22 日(日)城下消防まつり会場内、  
城下小学校校庭  
7~8月イベント実施の検討

- (5) 上田市社会福祉大会参加(サントミュージゼ)…………… 11月頃
- (6) 各自治会支部社協で行う地域ふれあい事業の推進…………… 4月～12月  
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)
  - ・各自治会支部社協で行われている各事業について、情報交換及び見学参加等により連携を図る。
- (7) 各自治会支部社協や城下事務所等で行う福祉活動に対し支援(助成)する。
- (8) 先進地視察研修(豊殿ふれあいサロン訪問・研修を計画)

## 令和 5 年度 城下地区社会福祉協議会予算 (案)

(令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日)

会 長 高橋 義幸  
会 計 金井 保芳

収入総額	507,269円
支出総額	507,269円
差 引	0円

## 収入の部

(単位:円) △は減額を示す

項 目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 C = (B - A)	備 考
前年度繰越金	165,707	206,268	40,561	
活動費	301,800	301,000	△800	上田市社会福祉協議会活動費
雑収入	1	1	0	
合 計	467,508	507,269	39,761	

## 支出の部

(単位:円) △は減額を示す

項 目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 C = (B - A)	備 考
会 議 費	0	5,000	5,000	
印刷費	0	80,000	80,000	印刷代
研修費	7,280	20,000	12,720	研修会
事務消耗品費	0	30,000	30,000	事務消耗品等
助 成 金	229,960	230,000	40	・自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 ・民生児童委員会 10,000円 ・福祉推進委員会 10,000円
活動費補助	0	20,000	20,000	
役員手当	24,000	25,000	1,000	役員19名
旅費交通費	0	3,000	3,000	
予 備 費	0	94,269	94,269	
合 計	261,240	507,269	246,029	

## 令和4年度 城下地区防犯防災協議会事業報告

### 1 城下地区防犯事業について

○ 活動スローガン

「みんなでつくろう安心の街・上田」

○ 重点事項

(1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

① 各種広報・啓発活動の推進

コロナ拡大の中、状況を見ながら各自治会毎で防犯パトロールを実施し、また市等から提供される「広報うえだ」「うえだセキュリティ」メール配信等で常に新しい情報を受け、防犯活動と情報の連携を図りました。

② 防犯研修会・出前講座等への参加

市等主催の「第6回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」及び「防犯指導員研修会」は、コロナ感染拡大防止のため中止となりました。

③ 「城下あいさつ・声かけ運動」への協力

城下地区社会福祉協議会の「城下あいさつ・声かけ運動」に協賛し、保育園、学校等を対象に年3回(7月、11月、3月)参加しました。

(2) 市等の関係団体と連携・協働した防犯活動の推進

① 市内統一の地域安全運動等への参加

- ・ 春の地域安全運動 ( 4月 6日～ 4月15日)
- ・ 夏の地域安全運動 ( 7月 1日～ 7月31日)
- ・ 全国地域安全運動 (10月11日～10月20日)
- ・ 年末特別警戒活動 (12月15日～12月31日)

それぞれの期間コロナ拡大の中、状況を見ながら各自治会毎で防犯パトロールを実施しました。

② 城下地区防犯指導員の活動

コロナ禍のため自治会役員(防犯指導員)との合同による防犯パトロールを実施しました。

### (3) 子ども・女性・高齢者等の安全対策の推進

子ども・女性・高齢者等を犯罪から守る防犯研修会を計画したが、コロナ禍のため中止しました。

#### ① 子どもを犯罪から守る活動の推進(学校見守り活動の支援)

学校関係者、防犯指導員、防犯ボランティアと連携して、登下校時の見守り活動の支援を行いました。

#### ② 青少年健全育成活動の推進

- ・街頭補導活動への参加(駅前パトロール等)

6月17日(金)の城下地区参加の駅前パトロールは、コロナウイルス感染警戒レベル5のため中止となりました。

## 2 城下地区防災事業について

### (1) 城下地区防災計画に基づいた活動の推進

#### ① 城下地区防災計画説明会の開催

- ・6月3日(金) 記者発表 参加者5名
- ・6月5日(日) 9自治会対象説明会 参加者 35名

#### ② 城下地区防災計画の「概要版・家庭保存版」を9月28日(木)全戸配布

10月22日(土)城下地区自治会連合会定例会で「概要版・家庭保存版」の説明を行いました。参加者 9名

### (2) 城下地区防災センターへの防災資器材倉庫および防災備品の整備

令和4年度コミュニティ助成事業の採択の可能性がないため申請は行わず、城下まちづくり未来会議の積立金で今後対応することとなりました。

### (3) 城下地区防災訓練等の実施 参加者 46名

- ・第9回城下地区防災訓練及び金窓寺川調整池視察

期日 令和4年9月25日(日)

場所 城下地区防災センター・金窓寺川調整池

内容 ・ 城下地区水路計画について

城下地区防犯防災協議会 顧問 宮下省二

・ 訓練(土のう作り、土のう積みデモンストレーション )

副会長 手塚博明、第六分団員

・ 各自治会による土のう作成

[9自治会各20袋持ち帰り、残り120袋は第六分団詰所に保管]

・ 金窓寺川調整池の現地視察 顧問 宮下省二

(4) 金窓寺川調整池完成式行われる。

期 日 令和4年10月1日(土)

場 所 金窓寺川調整池

参加者 40名

(5) 災害時における9自治会間の応援体制の確立

① 城下地区災害応援協定(平成25年11月30日締結)の推進

参考:諏訪形地区災害応援協定(平成31年4月14日締結)

・ 情報の共有について

・ 防災資器材の貸借について

② 自治会屋外放送設備及びサイレン設置の研究

城下地区自治会連合会で各自治会の情報伝達手段(放送施設の有無、効果等)についての調査を実施しました。

(6) 城下小・南小・四中における避難訓練への参加

コロナ感染防止対策のため、地域役員の参加は控えての実施となりました。

① 上田市立城下小学校

- ・ 4月 8日(金) 放送の聞き方訓練(休み時間中の校内放送をその場で聞く)
- ・ 4月13日(水) 火災想定避難訓練
- ・ 5月 2日(月) 児童引き渡し訓練
- ・ 9月 1日(木) 地震により火災発生想定避難訓練
- ・ 9月12日(月) 須川湖決壊想定垂直避難訓練
- ・ 11月 7日(月) 火災想定避難訓練

② 上田市立南小学校

- ・ 4月28日(木) 非常ベルを聞いての避難訓練
- ・ 9月15日(木) 火災想定避難訓練

③ 上田市立第四中学校

- ・ 4月14日(木) 火災想定避難訓練
- ・ 9月 1日(木) 地震による火災発生想定 避難訓練
- ・ 11月 1日(火) 地震による火災発生想定 避難訓練(事前通知無しで行う。)

及び水消火器による取扱訓練

(7) 災害時住民支え合いマップの整備促進への協力

(8) 視察研修

- ・ 6月 1日(日) 丸子まちづくり会議長瀬地区会議 参加者3名

消防夏まつり事業(目的、概要、内容)について

- ・ 7月31日(日) 第7回消防夏まつり 参加者3名

(9) 城下消防まつり開催に向けての会議等

会議 8回開催、実行委員会 1回開催

(10) 火災予防運動への協力

- ① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月 7日
- ② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日
- ③ 火災件数(令和4年1月1日～令和4年12月31日)  
上田市45件 城下地区4件(内訳 建物3 その他1)

(11) 上田市消防団第六分団消防委員会への協力

- ① 消防団員の確保と装備の充実支援
- ② 機能別消防団員加入への支援

(12) その他

- ① 自主防災組織リーダー研修会 参加者1名  
期日 令和4年5月24日(火)  
場所 創造館コミュニティーホール(大)
- ② 城南地区防災講座 参加者 6名  
期日 令和4年10月29日(土)  
場所 城南公民館 大ホール  
講師 西藤 直義(上田防災研究所たんぽぽチーフ)  
演題 「災害時自宅で生活する技とコツ」

## 令和 4 年度 城下地区防犯事業決算

(令和4年 4 月1日～令和5年3月31日)

会 長 小林 久敏

会 計 金井 保芳

収入合計額	188,350円
支出合計額	41,250円
差引残高	147,100円

### 収入の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	138,350	138,350	0	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	188,350	188,350	0	

### 支出の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
研修費	30,000	0	△ 30,000	子ども・女性・高齢者等を犯罪から守る防犯研修会等の開催→コロナ禍の為中止
交通費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	100,000	30,250	△ 69,750	防犯用品等の配布(アルミホイッスル500個)
消耗品費	7,000	0	△ 7,000	事務用品等
役員手当	14,000	11,000	△ 3,000	役員6名(正・副2・会計・顧問2)
予備費	37,350	0	△ 37,350	
業務委託費	0	0	0	
合計	188,350	41,250	△ 147,100	

### 会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和5年4月5日

監事 田玉 治實 ⑩

監事 沓掛 勝也 ⑩

令和5年度 城下地区防犯防災協議会役員(案)

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属 団 体 等	自 治 会
会 長	手塚 博明	城下地区防犯防災協議会会長・令和4・5年須川自治会長	須 川
副会長	長谷川和生	城下地区自治会連合会会長 令和5年御所自治会長	御 所
副会長	中村 哲夫	令和4年御所自治会長	御 所
会 計	金井 保芳	城下まちづくり未来会議会計	諏訪形
理 事	高橋 義幸	城下地区社会福祉協議会会長 ・令和4年中之条自治会長	中之条
理 事	西入 直喜	城下地区環境建設協議会会長	小 牧
理 事	大林 裕治	上田市危機管理防災課	御 所
理 事	江村 賢一	上田警察署川辺交番所長	吉 田
理 事	宮下 省二	消防団第六分団消防委員長	諏訪形
理 事	砥石 剛志	消防団第六分団長	千曲町
理 事	長坂 峰男	令和4年小牧自治会長	小 牧
理 事	窪田 善雄	令和4年諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	湯本 伸昌	令和4年中村自治会長	中 村
理 事	阿部 久利	令和4年朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	宮島 清美	令和4年三好町自治会長	三好町
理 事	大倉 幸雄	令和4年千曲町自治会長	千曲町
理 事	宮島 範之	令和5年小牧自治会長	小 牧
理 事	稲垣 康史	令和5年諏訪形自治会長 ・城下地区防犯指導員班長	諏訪形
理 事	村上 好成	令和5年中村自治会長	中 村
理 事	丸山 孝	令和5年朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	田玉 昇	令和5年三好町自治会長	三好町
理 事	中澤 伸夫	令和5年中之条自治会長	中之条
理 事	宮下 新五	令和5年千曲町自治会長・城下地区防犯指導員副班長	千曲町
理 事	田中 孝宏	城下地区防犯指導員副班長	中之条
理 事	竹内 仁一	城下小学校校長	諏訪形
理 事	山邊 久史	南小学校校長	中之条
理 事	大塚 明彦	第四中学校校長	諏訪形
監 事	田玉 治實	城下まちづくり未来会議監事	御 所
監 事	沓掛 勝也	城下まちづくり未来会議監事	御 所
顧 問	宮下 省二	市議会議員	諏訪形
顧 問	小坂井正明	元城下地区防犯防災協議会会長	御 所
顧 問	小林 久敏	前城下地区防犯防災協議会会長	諏訪形

## 令和5年度 城下地区防犯防災協議会事業計画(案)

### 【参 考】

上田市防犯防災協議会の設置状況について(4地区)

- ① 城下地区防犯防災協議会(9自治会)
- ② 神科地区防犯防災協議会(16自治会)
- ③ 豊殿地区防犯防災協議会(16自治会)
- ④ 南部地区防犯防災協議会(9自治会)

### 1 城下地区防犯事業について

#### ○ 活動スローガン

「みんなでつくろう安心の街・上田」

#### ○ 重点事項

##### (1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

###### ① 広報・啓発活動の推進

防犯指導員と協力し、各自治毎で防犯パトロールを実施し、また、犯罪の発生状況及び防犯対策について、「広報うえだ」、「うえだセキュリティー」や上田市メール配信等による常に新しい情報を受け、防犯活動と情報の連携を図る。

###### ② 防犯研修会・出前講座等への参加

市等主催の「第6回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」及び「防犯指導員研修会」に参加し、防犯知識の向上を図る。

期日 令和5年9月1日(金) 場所 サントミュージゼ大ホール

③ 「城下あいさつ・声かけ運動」への協力

城下地区社会福祉協議会の「城下あいさつ・声かけ運動」に協賛し、保育園、学校等で行う事業に協力する。

(2) 市等の関係団体と連携・協働した防犯活動の推進

① 市内統一の地域安全運動等への参加

・ 全国地域安全運動（10月11日～10月20日）

・ 年末特別警戒活動（12月15日～12月31日）

② 城下地区防犯指導員の活動への協力

(3) 子ども、女性、高齢者等の安全対策の推進

① 子どもを犯罪から守る活動の推進

・ 登下校時の見守り活動の支援

学校関係者、防犯指導員や防犯ボランティアと連携して、登下校時の見守り活動を推進すると共に、必要な情報提供を行う等の支援を行う。

② 女性を犯罪から守る活動の推進

生活安全情報(不審者情報)が得られる上田市のメール配信登録を推奨し、女性の犯罪被害防止を図る。

③ 高齢者を犯罪から守る活動の推進

・ 電話でお金詐欺(特殊詐欺)、悪徳商法等の被害防止対策

生活安全情報(特殊詐欺等)が得られる上田市のメール配信登録を推奨し、高齢者の犯罪被害防止を図る。

④ 子ども、女性、高齢者等の安全対策に関する研修会及び出前講座を開催する。

## 2 城下地区防災事業について

### (1) 城下地区防災計画に基づいた活動の推進

城下地区防災計画の見直し(城下地区指定避難所運営マニュアル)

### (2) 城下地区防災センターへの防災資器材倉庫及び防災備品の整備

### (3) 城下地区防災訓練等の実施

9自治会合同による研修会及び訓練を通じて、防災意識の高揚を図る。

### (4) 災害時における9自治会間の応援体制の確立

#### ① 城下地区災害応援協定(平成25年11月30日締結)の推進

参考:諏訪形地区災害応援協定(平成31年4月14日締結)

- ・ 情報の共有について
- ・ 防災資器材の貸借について

#### ② 自治会屋外放送設備等の情報伝達手段の研究

### (5) 城下消防まつりの開催

日時 令和5年10月22日(日) 午前9時30分から11時30分

場所 城下小学校校庭及び体育館

### (6) 城下小・南小・四中における避難訓練への参加

### (7) 災害時住民支え合いマップの整備促進への協力

### (8) 火災予防運動への協力

① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月 7日

② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

### (9) 上田市消防団第六分団消防委員会への協力

① 消防団員の確保と装備の充実支援

② 機能別消防団員加入への支援

### (10) 防災対策として千曲川等河川沿いの樹木の伐採を国等へ要望する。

## 令和 5 年度 城下地区防犯防災事業予算(案)

(令和5年 4 月1日～令和6年3月31日)

会 長 手塚 博明

会 計 金井 保芳

収入合計額	197,100円
支出合計額	197,100円
差引残高	0円

### 収入の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	138,350	147,100	8,750	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	188,350	197,100	8,750	

### 支出の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	5,000	5,000	
報償費	0	0	0	
研修費	0	30,000	30,000	子ども・女性・高齢者等を犯罪から 守る防犯研修会等の開催
交通費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	30,250	100,000	69,750	防犯用品等の配布
消耗品費	0	7,000	7,000	事務用品等
役員手当	11,000	13,000	2,000	役員7名(正・副2・会計・顧問3)
予備費	0	42,100	42,100	
業務委託費	0	0	0	
合計	41,250	197,100	155,850	

## 令和4年度 環境建設協議会事業報告

### 1 要望活動事業

「城下地域の主要道路、水路の整備、災害防止対策、教育環境整備等の広域的な課題及び辺地対策に係る課題」を要望活動の対象として、城下地区自治会連合会と協議を行い、市、県へ要望を行いました。

#### (1) 令和4年度要望の内容

##### ① 主要道路、水路の整備

上田建設事務所

- ・ 県道長野上田線改良工事の早期完成（継続）
- ・ 県道上田塩川線（須川地区）改良工事の早期完成（継続）

上田市

- ・ 市道三好町原峠線の改良工事（継続）
- ・ 市道神畑原峠線土留擁壁安全点検（継続）

##### ② 災害対策（上田市）

- ・ 城下地区雨水排水対策（継続）

※御所沢調整池、上田市霊園北側水路他関連工事の早期完成

##### ③ その他（上田市）

- ・ 城下地区下水道整備（継続）
- ・ 防災意識向上に向けた説明会の開催（新規）

※城下地区防災計画の策定に合わせ、千曲川災害を教訓とする防災、災害復旧関連説明会

#### (2) これまでの要望等に対する回答、進捗状況（主なもの）

上田建設事務所

- ・ 県道長野上田線については、赤坂交差点までの電線共同溝埋設工事が計画的に進められています
- ・ 県道上田塩川線（須川地区）道路狭隘部の道路計画について、自治会説明会が開催されました

上田市

- ・ 城下地区雨水排水対策については、金窓寺川調整池が完成し、御所沢川の調整池の計画が進められています
- ・ 千曲川水辺プラザの浚渫要望に関連し、維持管理等について都市計画課と協議を行いました

## 2 地域課題研究事業

### (1) 千曲川水辺プラザの維持管理について

#### ① 課題背景

千曲川水辺プラザは、平成 13 年に地元要望により市が設置した。要望の際、設置後の維持管理は地元で行うとし、以来、毎年小牧、諏訪形自治会が水辺プラザ水路敷一帯の草刈りを行っている。

設置から 21 年が経過し、利用者が減少する中で、水路周辺の湿地帯が拡大するなど環境は大きく変化している。泥が堆積し、沼地化した水辺プラザ水路の浚渫を要望するも実施されない現状において、地元自治会（小牧、諏訪形）が行う維持管理には限界が来ている。

設置経緯、利用の経過、現状を把握する中で、地域として、今後の維持管理について対応方針を定める必要がある

#### ② 協議経過

- ・ 5 月 城下自治連会議において課題背景について説明、状況確認
- ・ 7 月 上田市都市計画課と協議

##### (ア) 水路の浚渫が進まない理由

水辺プラザの下流、諏訪形グラウンド南側の水路が未整備であり、水の流れがスムーズではないため、必然的に上流に泥が堆積しやすい地形・構造である。このことから、浚渫効果は一時的であり、湿地化解消の根本的解決にはならない。また、水路改修は千曲川河川区域内での構造物の設置となるが、国は基本的には認めていない。

##### (イ) 地元による維持管理のあり方について

地元で行うとされている「維持管理」については、正式な取り決め等は無い。水辺プラザ設置から 21 年が経過し、様々な環境が大きく変化している中で、維持管理の内容もそれらに即したものにならざるを得ない。

- ・ 7 月、8 月 城下自治連会議

##### (ア) 地元維持管理の現状、課題を確認。宮下市議会議員から、水辺プラザ設置及び利用等の経過について説明

##### (イ) 小牧、諏訪形自治会長の意見（要旨）

「沼地化した場所での草刈りは危険な作業であり、苦労した割に成果が見えない。堤防階段周辺の草刈りは必要ではないか。」

「水路は、浚渫が滞り、草が繁茂し、水辺の公園にはなっていない。堤防からの階段・橋・小道は諏訪形グラウンドへの近道として利用がある。このことを考慮し、この部分の草刈りは継続していきたい。」

水辺プラザの維持管理事業としての草刈りは今後も継続するが、現場の状況、利用状況等を勘案し、草刈りの成果、効果が分かる、利用者のためになる箇所を行うこととする。

### ③ まとめ

#### 『千曲川水辺プラザ維持管理における今後の対応方針』

水辺プラザに係る地元の維持管理としては、堤防の階段等の通路 周辺の草の除去を行い、通行に支障を来さないようにすることを主たる業務とする。危険を伴う湿地帯での草刈りは行わない。作業分担等については小牧自治会、諏訪形自治会の話し合いによるものとする。

### (2) 朝日ヶ丘自治会南側旧長池導水路及び管理道路の環境整備について

朝日ヶ丘自治会が管理する旧長池導水路（管理道路）の環境整備に関連し、太陽光発電施設の防災計画（調整池、排水計画）と整合をとり対応することを確認した。その後、城下地区自治会連合会と太陽光発電事業者との協定書の締結により、今後の維持管理、環境整備についての方針が決定された。

旧長池導水路の整備については、11月4日の市長の現地視察の際に早期改修の要望を行った。

## 3 活動経過等

5月21日 城下自治連会議

- ・令和3年度の回答状況等報告
- ・令和4年度事業計画の説明（要望活動事業、地域課題研究事業）

7月22日 上田市都市計画課と千曲川水辺プラザについて協議

7月23日 城下自治連会議

- ・広域的課題の検討、自治会要望との調整
- ・千曲川水辺プラザの地元管理について課題の整理、確認
- ・朝日ヶ丘旧長池導水路維持管理の課題について

8月20日 城下自治連会議

- ・千曲川水辺プラザの地元管理について方針決定
- 管理方法の見直し、関係自治会（小牧、諏訪形）で確認

10月21日 上田市長に要望書提出

出席者：宮下市議、増澤会長、西入環境建設協議会長

10月25日 上田建設事務所所長に要望書提出

出席者：増澤会長、西入環境建設協議会長

11月4日 上田市長、都市建設部長らが要望箇所を現地視察

## 令和 5 年度 城下地区環境建設協議会役員(案)

(敬称略)

役 職	氏 名	所属団体等	自治会
会 長	西入 直喜	学識経験者	小 牧
副会長	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議副会長	中之条
副会長	長谷川和生	城下地区自治会連合会会長	御 所
理 事	高橋 義幸	城下地区社会福祉協議会会長	中之条
理 事	手塚 博明	城下地区防犯防災協議会会長・須川自治会長	須 川
理 事	相田 賢治	六ヶ村堰土地改良区理事長	諏訪形
理 事	宮下 省二	第 6 分団消防委員長	諏訪形
理 事	柳澤登美男	学識経験者	中 村
理 事	竹内 久子	元朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	宮島 範之	小牧自治会長	小 牧
理 事	稲垣 康史	諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	丸山 孝	朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	村上 好成	中村自治会長	中 村
理 事	田玉 昇	三好町自治会長	三好町
理 事	中澤 伸夫	中之条自治会長	中之条
理 事	宮下 新五	千曲町自治会長	千曲町
理 事	長坂 峰男	前 小牧自治会長	小 牧
理 事	窪田 善雄	前 諏訪形自治会長	諏訪形
理 事	阿部 久利	前 朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
理 事	湯本 伸昌	前 中村自治会長	中 村
理 事	宮島 清美	前 三好町自治会長	三好町
理 事	中村 哲夫	前 御所自治会長	御 所
理 事	大倉 幸雄	前 千曲町自治会長	千曲町
顧 問	宮下 省二	城下まちづくり未来会議相談役	諏訪形
顧 問	小野澤義和	学識経験者	中 村

## 令和 5 年度 城下地区環境建設協議会事業計画（案）

### 1 要望活動事業

- (1) 城下地域の主要道路、水路の整備、災害防止対策、教育環境整備等の広域的な課題及び辺地対策に係る課題について、城下地区自治会連合会と協議を行い、要望事項の取りまとめを行います。
  
- (2) 要望事項の内容に応じ、市、県の担当課所と協議を行い、課題を共有する中で事業化の促進に努めます。

### 2 地域課題研究事業

城下地区自治会連合会と地域の共通課題を共有し、その解決に向け、研究を進めます。